

国立国会図書館は立法府に属し、国会、行政・司法の各部門及び一般公衆に対して幅広いサービスを提供しています。国立国会図書館の業務は調査業務・司書業務・一般事務に分けられ、総合職試験、一般職試験での採用者はこれら三つの業務の様々な仕事を担います。職員の身分は国会職員（特別職国家公務員）で、東京本館（東京都千代田区永田町）、関西館（京都府相楽郡精華町）又は国際子ども図書館（東京都台東区上野公園）で勤務します。職員の定員は 893 名（令和 3 年 4 月現在）です。

身分	勤務時間
国会職員（特別職国家公務員） ※勤務条件等は一般職の国家公務員とほぼ同様です。	本則は、午前 9 時から午後 5 時 45 分まで（休憩 60 分を含む）。 また、育児短時間勤務、保育時間、育児時間、早出遅出勤務、休憩時間変更措置、フレックスタイム制等の制度を導入しています。
給与	勤務地
給料は一般職の国家公務員の給料に準じた額となります。 また、期末・勤勉手当（6・12 月期）、通勤手当、扶養手当、住居手当、超過勤務手当等が支給されます。	【東京】 東京本館（東京都千代田区永田町） 国際子ども図書館（東京都台東区上野公園） 【京都】 関西館（京都府相楽郡精華町） ※官署間の異動、東京と京都間の転勤があります。

寮・宿舎



代々木上原寮

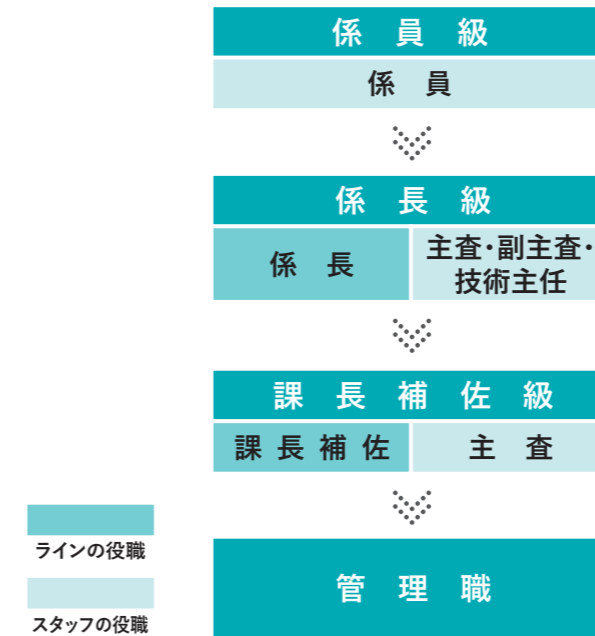


京都宿舎

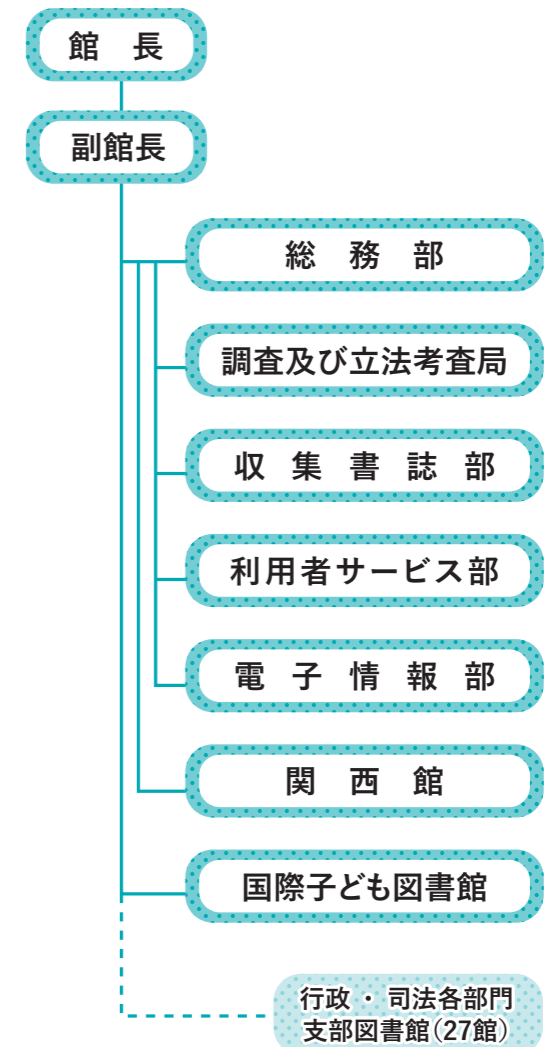
東京都渋谷区に代々木上原寮（独身者用）が、京都府相楽郡精華町に京都宿舎があります。

キャリアパス

国立国会図書館の職員は、定期的な異動によって様々な部署や業務を経験し、多様なキャリアを歩みます。学歴、専攻に関わらず、職員の適性や希望等を考慮して、配属先を決定します。



組織図



職員統計

